

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6060 URL http://cocolonet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 安斎 紀之 TEL 024(573)6556
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,169	10.0	282	△20.0	296	△19.8	461	3.7
25年3月期第1四半期	2,882	—	353	—	369	—	444	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 484百万円 (9.2%) 25年3月期第1四半期 444百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	120.05	—
25年3月期第1四半期	130.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,325	7,333	32.8	1,908.12
25年3月期	16,209	6,488	40.0	1,831.42

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,333百万円 25年3月期 6,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,350	14.6	459	△21.9	477	△24.9	362	62.8	94.28
通期	12,633	20.3	1,004	8.4	1,053	△3.5	689	30.8	179.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社郡山グランドホテル、除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	3,843,100株	25年3月期	3,543,100株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	55株	25年3月期	55株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	3,843,045株	25年3月期1Q	3,400,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 施行件数の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安・株高傾向を受けて、景気には改善の動きがみられました。一方で、為替や株価の大きな変動や、中国における経済成長の鈍化等、国内景気回復の先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、東日本大震災の復興需要等により企業収益や個人消費に持ち直しの動きがみられました。

このような環境下、当社グループでは、平成25年4月に、株式会社郡山グランドホテル（以下、「郡山グランドホテル」という。）を完全子会社化し、また知名度・ブランド力の向上のためにテレビ・ラジオコマーシャル等によるプロモーション活動を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,169百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は282百万円（同20.0%減）、経常利益は296百万円（同19.8%減）となりました。また、特別利益として負ののれん発生益209百万円を計上した結果、四半期純利益は461百万円（同3.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高については、セグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお、当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント（各連結子会社）の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、既往の同業他社との会員獲得競争に加え低価格商品を提供する新規業者の進出によりシェア競争が激化しました。

このような状況の下、葬儀価格の改定、広告宣伝・葬儀の事前相談受付等の強化、サービスの質の向上に取り組みました。また郡山グランドホテルの完全子会社化により、福島県中地区に葬祭会館3施設が加わりました。その結果、売上高は1,222百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は31百万円（同58.3%減）となりました。

② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、震災後の墓石等の修復需要は落ち着きを見せ始めました。

このような状況の下、営業努力により前年を上回る受注を確保した一方で、急激な円安により仕入コストが上昇し収益性が低下しました。その結果、売上高は584百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は61百万円（19.3%減）となりました。

③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により立ち入りが制限されていた区域等の再編により、当該地域への立ち入り・滞在が一部可能となり、ようやく復興の兆しが見え始めました。

このような状況の下、耐震構造墓石を積極的に提案しましたが、受注の増加には至りませんでした。その結果、売上高は353百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は22百万円（同30.0%減）となりました。

④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、東日本大震災後の落ち込みから回復し、増勢基調であった婚礼施行が横ばいで推移しました。

このような状況の下、福島県郡山市及び福島県会津若松市の婚礼会場のリニューアルや、お客様のニーズに対応した販促キャンペーンを展開し、来館者数の増加に努めました。また郡山グランドホテルの完全子会社化により、福島県郡山地区に婚礼会場1施設が加わりました。その結果、売上高は900百万円（前年同期比44.3%増）、営業利益は112百万円（同21.3%増）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、全体的に生花需要が低下し、更に低価格品種に需要が集中しました。その結果、売上高は90百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は17百万円（同39.9%減）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会代理店による会員募集活動の強化を行い、会員数の増加を図り、互助会を利用した葬儀及び婚礼施行の増加に努めました。その結果、売上高は2百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は7百万円（同41.7%減）となりました。

⑦ その他

その他の装販部門につきましては、葬儀件数の減少により、主力商品である棺の需要は減少しました。その結果、売上高は14百万円（前年同期比8.2%減）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ992百万円増加し4,573百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による現金及び預金の増加、売上高の増加による受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ5,123百万円増加し17,752百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による建物及び構築物の増加によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ572百万円増加し2,869百万円となりました。これは主に賞与引当金の計上、郡山グランドホテルの完全子会社化等による1年内返済予定の長期借入金の増加によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,699百万円増加し12,123百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による長期借入金の増加、前払式特定取引前受金の増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ844百万円増加し7,333百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルとの株式交換における資本剰余金の増加、四半期純利益461百万円に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、株式会社郡山グランドホテルを株式交換により完全子会社化したため、株式会社郡山グランドホテル及びその子会社2社（株式会社互助システムサークル、株式会社川島）を連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したこころガーデン株式会社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,281,660	2,834,161
受取手形及び売掛金	717,522	961,639
有価証券	—	30,103
商品及び製品	327,228	337,540
仕掛品	37,830	38,245
原材料及び貯蔵品	17,238	18,734
その他	259,824	420,625
貸倒引当金	△61,075	△68,048
流動資産合計	3,580,230	4,573,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,012,620	7,060,732
土地	3,777,146	5,071,529
その他（純額）	127,599	341,686
有形固定資産合計	8,917,366	12,473,948
無形固定資産		
のれん	116,824	114,487
その他	30,364	44,367
無形固定資産合計	147,188	158,855
投資その他の資産		
投資有価証券	2,178,368	2,972,789
営業保証金	611,858	581,099
その他	828,686	1,644,908
貸倒引当金	△54,604	△78,747
投資その他の資産合計	3,564,308	5,120,049
固定資産合計	12,628,863	17,752,853
資産合計	16,209,094	22,325,855
負債の部		
流動負債		
買掛金	369,018	398,939
短期借入金	480,000	420,000
1年内返済予定の長期借入金	484,324	857,416
未払法人税等	109,729	41,919
賞与引当金	168,829	269,746
店舗閉鎖損失引当金	—	42,250
資産除去債務	1,992	—
その他	682,534	838,814
流動負債合計	2,296,428	2,869,086
固定負債		
長期借入金	2,003,989	3,436,584
退職給付引当金	—	12,838
前受金復活損失引当金	19,603	20,916
資産除去債務	112,868	113,468
負ののれん	154,913	151,815
前払式特定取引前受金	4,887,082	8,067,199
その他	245,411	320,945
固定負債合計	7,423,866	12,123,766
負債合計	9,720,295	14,992,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	1,620,512	2,033,012
利益剰余金	4,331,620	4,739,836
自己株式	△46	△46
株主資本合計	6,452,746	7,273,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,096	12,970
為替換算調整勘定	20,955	46,570
その他の包括利益累計額合計	36,052	59,540
純資産合計	6,488,798	7,333,002
負債純資産合計	16,209,094	22,325,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,882,534	3,169,582
売上原価	1,859,379	2,110,654
売上総利益	1,023,155	1,058,928
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7,521	11,683
給料及び賞与	242,995	261,550
賞与引当金繰入額	50,478	54,372
退職給付費用	8,699	9,369
その他	360,220	439,255
販売費及び一般管理費合計	669,914	776,231
営業利益	353,241	282,696
営業外収益		
受取利息	7,112	7,660
受取配当金	1,584	1,487
負ののれん償却額	3,098	3,098
掛金解約手数料	7,123	11,595
その他	26,662	23,081
営業外収益合計	45,582	46,923
営業外費用		
支払利息	13,632	19,730
持分法による投資損失	1,636	3,127
前受金復活損失引当金繰入額	2,414	589
その他	11,541	9,862
営業外費用合計	29,224	33,308
経常利益	369,598	296,311
特別利益		
固定資産売却益	1,170	—
負ののれん発生益	—	209,115
受取補償金	309,065	8,907
特別利益合計	310,235	218,022
特別損失		
固定資産除却損	706	14,489
投資有価証券評価損	96	—
特別損失合計	803	14,489
税金等調整前四半期純利益	679,031	499,844
法人税、住民税及び事業税	260,513	97,233
法人税等調整額	△26,313	△58,750
法人税等合計	234,200	38,482
少数株主損益調整前四半期純利益	444,831	461,361
四半期純利益	444,831	461,361

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	444,831	461,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,060	△2,126
持分法適用会社に対する持分相当額	12,286	25,615
その他の包括利益合計	△774	23,488
四半期包括利益	444,056	484,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	444,056	484,850
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年4月1日を効力発生日とした株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に際し、新たに普通株式300,000株を発行し割当交付いたしました。これに伴い、資本剰余金が412,500千円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,222,896	553,261	370,061	624,291	93,128	2,687	2,866,326	15,436	2,881,763	771	2,882,534
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	500	66,701	-	66,638	103,488	99,950	337,278	17,260	354,539	△354,539	-
計	1,223,396	619,962	370,061	690,929	196,616	102,637	3,203,604	32,697	3,236,302	△353,767	2,882,534
セグメント利益 又は損失(△)	75,526	75,953	32,347	92,784	29,715	12,667	318,994	△64	318,929	34,311	353,241

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益360,585千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△330,000千円、セグメント間取引消去2,904千円、のれん償却額△2,461千円、その他の調整額が3,282千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,222,540	584,712	353,421	900,965	90,452	2,542	3,154,634	14,176	3,168,810	771	3,169,582
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,374	108,053	1,616	52,052	93,914	103,498	361,510	17,198	378,708	△378,708	-
計	1,224,914	692,766	355,037	953,018	184,366	106,041	3,516,145	31,374	3,547,519	△377,937	3,169,582
セグメント利益 又は損失(△)	31,515	61,320	22,639	112,550	17,869	7,390	253,286	△1,561	251,724	30,971	282,696

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門及び介護事業であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益437,671千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△400,000千円、セグメント間取引消去957千円、のれん償却額△1,935千円、その他の調整額が△5,721千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、婚礼事業及び互助会事業の資産の金額が著しく変動しております。前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、婚礼事業4,451,351千円、互助会事業3,198,479千円がそれぞれ増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、同社を婚礼事業、同社の子会社である株式会社互助システムサークルを互助会事業及び葬祭事業に含めております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、婚礼事業における負ののれん発生益209,115千円を特別利益に計上しております。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資の決定)

当社は、平成25年7月10日開催の取締役会において、福島県郡山市の婚礼会場「記憶の森」の建替えを次のとおり決議いたしました。

1. 設備投資の目的

福島県郡山地区の婚礼シェアを高めるため、中規模人数帯を対象とした婚礼会場として、当該婚礼会場の建替えを行うものです。

2. 設備投資の内容

所在地	福島県郡山市山崎305番10
施設形態	総合結婚式場
投資金額	約637,000千円
建築面積	約1,617㎡
施設規模	1式場・1バンケット

3. 設備導入時期

平成25年9月	着工予定
平成26年3月	完成予定
平成26年春	事業開始予定

4. 営業・生産活動に及ぼす影響

当該婚礼会場の稼働により、平成27年3月期の婚礼施行件数は90組増を見込んでおります。

4. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第1四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
	葬儀施行件数 (件)
福島事業部	266 (-)
郡山事業部	53 (31)
会津事業部	117 (-)
催事事業部	495 (-)
合計	931 (31)

- (注) 1 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。
- 2 施行件数の()は、株式会社郡山グランドホテルの完全子会社化に伴い、同社の子会社である株式会社互助システムサークルにおける葬儀施行数を内書きしております。なお、同件数は当該事業における郡山事業部に集計することとしております。

(2) 婚礼事業

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
	婚礼施行件数 (件)
福島事業部	73 (-)
会津事業部	30 (-)
郡山事業部	121 (86)
合計	224 (86)

- (注) 施行件数の()は、株式会社郡山グランドホテルの完全子会社化に伴い、同社における婚礼施行数を内書きしております。なお、同件数は当該事業における郡山事業部に集計することとしております。